

無料クーポン券を使ってがん検診を受けましょう！



対象者に配布している無料クーポン券

皆さんは毎年、職場や人間ドック、町の総合健診でがん検診を受けていますか？

日本人の約2人に1人はがんになり、3人に1人が命を落としています。また、65歳以上になると、約2人に1人ががんで亡くなっています。がんによる死亡者数は年々増えていますが、最近では、診断や治療の研究が進み、早期にがんを発見し、適切な治療につなげることができるようになってきました。町では、町民の皆さんにがんの早期発見と正しい健康意識の普及・啓発を図ることを目的に平成21年から「がん検診推進事業」を実施し、検診の無料クーポン券を配布しています。クーポン券は、働き盛りの世代に増えている「大腸がん検診」、女性特有のがんである「乳がん検診」、「子宮頸がん検診」の3種類です。クーポン券の対象となるのは下記の年齢に該当する人です。平成25年4月20日現在、猪苗代町に住民登録がある人には6月28日までにクーポン券および検診手帳を発送しました。大腸がん検診クーポン券は町の総合健診（7月1日～11日、

7月29日～8月8日の土日を除く18日間）だけで利用可能です。乳がん検診・子宮頸がん検診クーポン券は、町での集団検診と並行して実施する施設検診でも利用できます。利用できる期間も長く、土曜日に検診を実施している医療機関もありますので、検診を受けたことがないという人もこの機会にぜひ、検診デビューしましょう。

もちろんクーポン券の対象外で、他にがん検診を受ける機会がないという人も、町の検診で受けられます。少ない自己負担で受診できますので、がんを早期に発見、治療するために検診を受けましょう。

▼問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり係
☎（62）2115

大腸がん検診・乳がん検診（乳がん検診は女性のみ）

（前年度）年齢	生年月日
40 歳	昭和 47 年 4 月 2 日～昭和 48 年 4 月 1 日
45 歳	昭和 42 年 4 月 2 日～昭和 43 年 4 月 1 日
50 歳	昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 38 年 4 月 1 日
55 歳	昭和 32 年 4 月 2 日～昭和 33 年 4 月 1 日
60 歳	昭和 27 年 4 月 2 日～昭和 28 年 4 月 1 日

子宮頸がん検診（女性のみ）

（前年度）年齢	生年月日
20 歳	平成 4 年 4 月 2 日～平成 5 年 4 月 1 日
25 歳	昭和 62 年 4 月 2 日～昭和 63 年 4 月 1 日
30 歳	昭和 57 年 4 月 2 日～昭和 58 年 4 月 1 日
35 歳	昭和 52 年 4 月 2 日～昭和 53 年 4 月 1 日
40 歳	昭和 47 年 4 月 2 日～昭和 48 年 4 月 1 日



大好きなパパ、ママと一緒に、にっこり笑顔の七彩ちゃん

愛らしい笑顔で周りを和ませる七彩ちゃん。健二さんは「とにかく健康に育ってほしい」、志保さんは「思いやりのある優しい子になってほしい」と話します。

古川 七彩 ちゃん

平成 24 年 11 月生まれ
～中ノ沢
健二さん・志保さん夫婦の長女

寝返りができるようになり、おすわりも覚えた七彩ちゃん。最近ではテレビにくぎ付けで、大好きなおかあさんといっしょの「ぼわわっふたいそう」が始まると、「アー、ウー」と声を上げて手足をバタバタさせています。七彩ちゃんのおうちは中ノ沢温泉の「花見屋旅館」。日中は帳場でおばあちゃんと過ごすことが多く、おんぶされてカウンターに出ると、お客さんに愛嬌を振りまいています。「じいちゃんもよく遊んでくれるし、手が空いている時は従業員さんが見てくれることもあります。旅館の人みんな育てているようなものです」とママの志保さん。愛くるしい笑顔でみんなを癒す七彩ちゃん。たくさんの愛情に包まれて、すくすく成長中です。※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。☎（62）2111

ハーン、きらりさん

実家の目の前がスキー場で、2歳の頃からスキーを始めたという樋口さん。「小学校の頃は、授業が終わると早く滑りたくてダッシュで帰宅していた」と笑いながら話します。当時から夢は「オリンピック選手になること」。競技を始めるとめきめき頭角を現し、たちまちトップ選手に。全中、インターハイなど数々のタイトルを手に入しました。

高校卒業後は大学に進学し、在学中の1997年からW杯で世界を転戦。翌年には長野五輪の代表に選ばれ、夢を実現させました。五輪では回転、大回転、複合の3種目に出場し、複合では16位と健闘を見せました。

五輪出場を果たした後は、第一線を退き指導者の道へ。全日

本ウィンタースポーツ専門学校の講師を務めながら国体や全日本技術選などに出場。国体で数回優勝、技術選でも準優勝4回など常に上位に入り、日本のスキー界をリードしました。

夢をかなえるには何が大切か尋ねると「あきらめない気持ち」ときっぱり。「あとは夢と目標を両方持つこと。あきらめずに目標を一つ一つ達成していけば夢に近づく」と続けます。

当時S A Jデモンストレーターの英明さん（神明町出身）と2007年に結婚し、現在は会津養護学校に勤務する樋口さん。「せっかくスキーの盛んな猪苗代に來たのだから、子どもたちに教えるお手伝いなどができたうれしい」と話します。



樋口 純子さん（神明町）

Profile ひぐち・じゅんこ
新潟県妙高高原町（現在は妙高市）出身。旧姓山川。日本大学在学中に長野五輪アルペンスキー女子日本代表として回転、大回転、複合の3種目に出場。元ナショナルデモンストレーター。現在は会津養護学校に講師として勤務。趣味は読書とゴルフ